

【お知らせとお願い】

○中学校の職場体験、保育実習が下記の日程で行われます。

7/11(火)～7/13(木) 赤塚第一中学校 8名

7/3(月)～7/15(土) 保育実習

7/31(月)～8/10(木) 保育実習



この他、都立有徳高校の生徒さんが7/6(木)～1/11(木)の間で、保育士体験に来園します。

○7～8月に夏休みの計画をされている方は、給食発注等の都合上、お休みの日がわかり次第、早めに担任までお知らせください(連絡ノートや口頭でもお願いします)。

この季節は夏ならではの楽しい遊び体験(海に入る、山登り、虫とりをするなど)ができ、子どもたちにとっては大きく成長するきっかけとなります。親子の時間を大切に、ぜひ楽しい時間をお過ごしください。

～今年度の保育のテーマ「食」について～

北野保育園では、学年やクラスの壁を持たず園全体で子どもも保育者も皆で同じ方向を向いて過ごせるよう、年間の保育テーマを設けています。平成27年度は「うた」、平成28年度は「踊る」でした。テーマになった内容はその年で終わることなく、日々の保育で、もちろん行事等で継続的に取り組んでいます。

さて、今年度のテーマは「食」となりました。なぜ「食」なのかという疑問がわくかもしれません。実は、ここ数年職員の話し合いの中で意欲に乏しい子どものことが話題になっていました。人間には様々な「欲」がありますが、生きるために「食」が満たされていないと、様々なことに対して“意欲”がわきません。保育方針にある「生きる力のある子ども」の“生きる力”を育てるためにも、“意欲”は大切な役割をしています。“意欲”を育てるためには何が必要か。ここに今年度のテーマ「食」が繋がってきます。空腹の時を思い出してみてください。“〇〇がやりたい!”と思っても身体が思うように動きません。気が散って集中力も低下します。イライラしてしまうということもあると思います。お子さんの空腹の時の姿を思い浮かべていただいても同じかと思えます(言葉で伝えられない赤ちゃんは泣いて訴えるしかないわけですが)。「食」が充実することで、十分に動く(遊ぶ)ことができ、体を動かすことでぐっすり眠ることができ、それが生活リズムの安定につながり、そして健康や活動の意欲につながります。

友達や家族と一緒に食べたり、作ってくれた人への感謝を通して人との関わりを深めたりする。また、野菜の栽培やクッキング活動を通して様々な物・事象に興味や関心を持つこと等、様々な可能性が広がります。一見すると「食」というテーマに関係していないと思うようなことも、よく考えていくとつながる部分があり、「食」を通して様々なことを子ども達と一緒に考える機会になります。

今年度はこのテーマに沿って、子ども・家庭・保育園が共に同じ方向を向き、よく食べ、よく遊び、よく考える一年にしていきたいと思っています。

(参考)

- ・ 食べることは、生きることの源であり、心と体の発達に密接に関係している。乳幼児期から、発達段階に応じて豊かな食の体験を積み重ねていくことにより、生涯にわたって健康でいきいきとした生活を送る基礎となる「食を営む力」を培うことが重要である。
- ・ 食事は空腹を満たすだけでなく、人間的な信頼関係の基礎をつくる営みでもある。子どもは身近な大人からの援助を受けながら、他の子どもとの関わりを通して、食べることを楽しみ合い、豊かな食の体験を積み重ねていくことが必要である。(一部抜粋)

厚生労働省

保育所における食育に関する指針より